

まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題をお寄せください。
役場企画振興課まで (電話72-0332)

蔵を改装して美術館に变身

日本一小さな「蔵」美術館がオープン



テープカットし開館を祝う関係者

蔵を活用した「日本一小さな『蔵』美術館」が、5月1日、上菅地区にオープンしました。美術館1階は一般に開放する展示コーナーで、2階は掛け軸や刀剣、書状など江戸時代を中心とした古美術品が展示されています。

いた作品などは、訪れる人たちの目を引いていました。蔵は、小谷博徳さん(上菅)の所有で、2階建ての述べ約50平方メートル。地域の文化振興の場として蔵を美術館に改装しようと、小谷さんが企画しました。震災で白壁や天井の一部が壊れていましたが、町ポランティアセンターの協力を得て開館を迎えました。昨年10月から蔵の内装や周辺環境の整備、油絵の掃除など延べ69人のボランティアが参加しました。

開館を迎え、小谷さんは「多くのボランティアの協力でここまでできました。この美術館をジゲの活性化につなげていきたい」と話していました。今後、四季を通じて年4回、1週間程度無料開館する予定で、希望があればその都度開館されます。



雄大な春の大山に見入る来場者

ルールを守って安全運転

新見千屋で交通安全県境テント村が開設

交通安全の意識を高めようと、5月5日、交通安全県境テント村が、新見千屋温泉入口で開設されました。

この日は、鳥取・岡山県の交通安全関係者約70人が参加し、

行楽に出かける通行車両に手作りのマスコットやチラシなどを配りました。

参加者は「交通マナーを守って事故のないように」などと安全運転を呼びかけました。

このテント村は、明地峠が鳥取県と岡山県の県境にあることから、鳥取県交通安全協会黒坂支部と新見交通安全協会千屋支部が交通安全を願って企画。春と秋に岡山県側と鳥取県側(明地峠)で交互に開設しています。



ドライバーに事故防止を呼びかける